

平成23年度
澁川市総合計画後期基本計画
策定に向けた 市民意識調査

■ 結果報告書 ■
概要版

平成24年3月
澁川市

目 次

第1章 市民意識調査概要	1
1.調査目的	1
2.調査方法	1
(1) 調査対象	1
(2) 抽出数	1
(3) 調査方法	1
(4) 調査期間	1
(5) 配布回収方法	1
3.回収結果	1
(1) 回収結果 - 地区別 -	1
(2) 回収結果 - 年齢別・性別 -	2
4.質問項目	2
(1) 属性について	2
(2) 市の取り組みに関する満足度について	2
(3) 市の取り組みに関する重要度について	2
(4) まちづくりへの関心度・参加意向について	2
(5) 合併後のまちづくりについて	2
(6) 今後のまちづくりについて	2
(7) 自由記述	2
第2章 市民意識調査の結果	3
1.回答者の年齢割合	3
2.回答者の職業構成	3
3.回答者の居住地区構成	4
4.回答者の居住年数	4
5.市の取り組みに関する満足度について	5
6.市の取り組みに関する重要度について	11
7.まちづくりへの関心度について	17
8.市民が現在知りたい情報について	17
9.市の活動への参加意欲について	18
10.市民が参加したい市民活動について	18
11.市民活動に参加したくない理由について	19
12.合併後のまちづくりについて	19
13.合併後の市民サービスについて	20
14.合併後の渋川市としての一体感について	20
15.今後のまちづくりについて	21
16.自由記述	21

第1章 市民意識調査概要

1.調査目的

渋川市は平成18年2月20日に合併し、今年で6年目を迎えました。

合併後に策定された現在の総合計画は、平成20年度から29年度までの10年間の計画期間としています。その内容は、将来の渋川市の都市像とまちづくりの理念を示す『基本構想（総合計画と同じ10年間）』と、その構想に基づいた根幹的な取り組みを示す、『基本計画（平成20年度から24年度までの5年間は前期基本計画、平成25年度から29年度までの5年間は後期基本計画）』、そして基本計画に定めた取り組みを計画的に実施する『実施計画（毎年度見直し）』により構成されています。

今回の調査は、平成25年度からスタートする後期基本計画の策定にあたり日頃市民の皆様が感じていることを確認するために実施しました。

調査結果については後期基本計画に反映させるとともに、今後のまちづくりに活かしていくものです。

2.調査方法

(1) 調査対象

市内在住の18歳以上の市民

(2) 抽出数

4,000件（地区の人口バランスに考慮するとともに、男女、年齢構成に偏りの無いように住民基本台帳より無作為抽出）

(3) 調査方法

アンケート調査（アンケート用紙による自記式アンケート）

(4) 調査期間

平成23年9月～平成23年10月

(5) 配布回収方法

郵送（別納郵便による）

3.回収結果

(1) 回収結果 - 地区別 -

	人口(人)	発送数(件)	回答数(件)	回答率(%)
渋川地区	45,642	1,765	848	48.0%
伊香保地区	3,332	296	122	41.2%
小野上地区	1,838	244	116	47.5%
子持地区	12,091	600	273	45.5%
赤城地区	11,347	574	239	41.6%
北橘地区	9,812	521	203	39.0%
無回答			9	
合計	84,062	4,000	1,810	45.3%

※（人口は平成23年8月1日時点の住民基本台帳に基づく）

(2) 回収結果 - 年齢別・性別 -

	18-19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	年齢不明	合計
男性	14	52	71	81	157	191	214	4	784
	1.8%	6.6%	9.1%	10.3%	20.0%	24.4%	27.3%	0.5%	100.0%
女性	13	76	104	130	177	217	274	5	996
	1.3%	7.6%	10.4%	13.1%	17.8%	21.8%	27.5%	0.5%	100.0%
性別不明	0	1	1	0	3	2	15	8	30
	0.0%	3.3%	3.3%	0.0%	10.0%	6.7%	50.0%	26.7%	100.0%
合計	27	129	176	211	337	410	503	17	1810
	1.5%	7.1%	9.7%	11.7%	18.6%	22.7%	27.8%	0.9%	100.0%

4.質問項目

(1) 属性について

問 1 性別、問 2 年齢、問 3 職業、問 4 居住地区、問 5 居住年数、問 6 家族構成を定量的に設定しました。

(2) 市の取り組みに関する満足度について

大きく以下の 8 分野を設定し、その中で詳細に合計 48 問について、「満足」から「不満」まで 5 段階に設定しました。

- ①道路や橋の整備、バス交通などが利用しやすくなる取り組み
- ②自然環境を守る取り組み
- ③身の回りの生活の充実と暮らしを守る取り組み
- ④健康づくりや福祉を充実させる取り組み
- ⑤教育環境の整備と、文化・スポーツ活動を充実させる取り組み
- ⑥観光や農業、商工業を発展させる取り組み
- ⑦市民が参加しやすい環境を整える取り組み
- ⑧無駄のないスリムな行政運営を行う取り組み

(3) 市の取り組みに関する重要度について

満足度と同じ 8 分野・詳細設問 48 問について、「重要」から「重要でない」までに 5 段階に設定しました。

(4) まちづくりへの関心度・参加意向について

関心度については、「非常に関心がある」から「まったく関心がない」までの 5 段階に設定しました。

市民活動の参加経験と今後の参加意向を設定。参加意向が無い方には、その理由を複数回答にて設定しました。

(5) 合併後のまちづくりについて

市民の実感を「まちづくりが進んだ」から「まちづくりが進んでいない」まで 3 段階にて設定しました。

(6) 今後のまちづくりについて

16 の主な施策について、5 つまでの複数回答で選択していただき、その上位 5 つを抽出しました。

(7) 自由記述

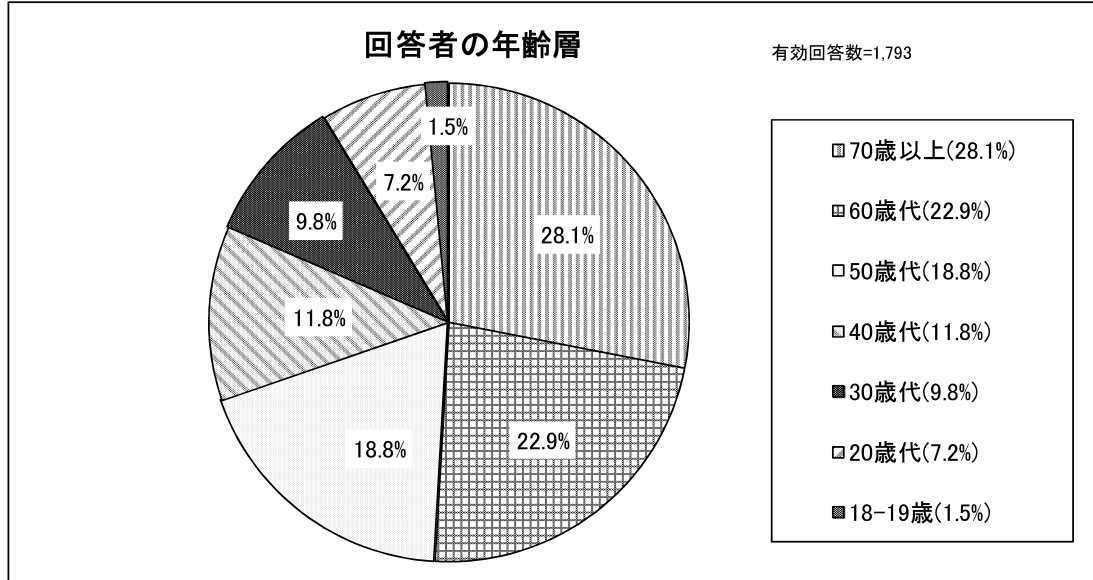
今後のまちづくりについて意見、要望、お気づきの点などを自由回答にて設定しました。

第2章 市民意識調査の結果

1.回答者の年齢割合

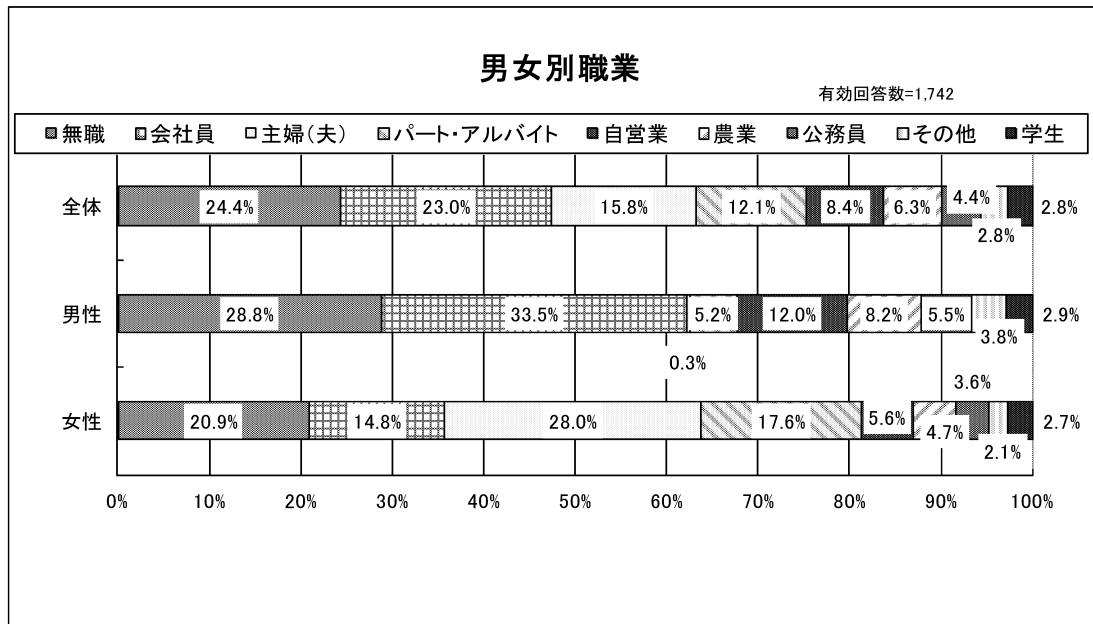
回答者の年齢層は70歳以上が28.1%と最も多く、次いで60歳代が22.9%、50歳代が18.8%の順に多くなっています。

このことから、回答者の高齢化が進んでいることがうかがえます。



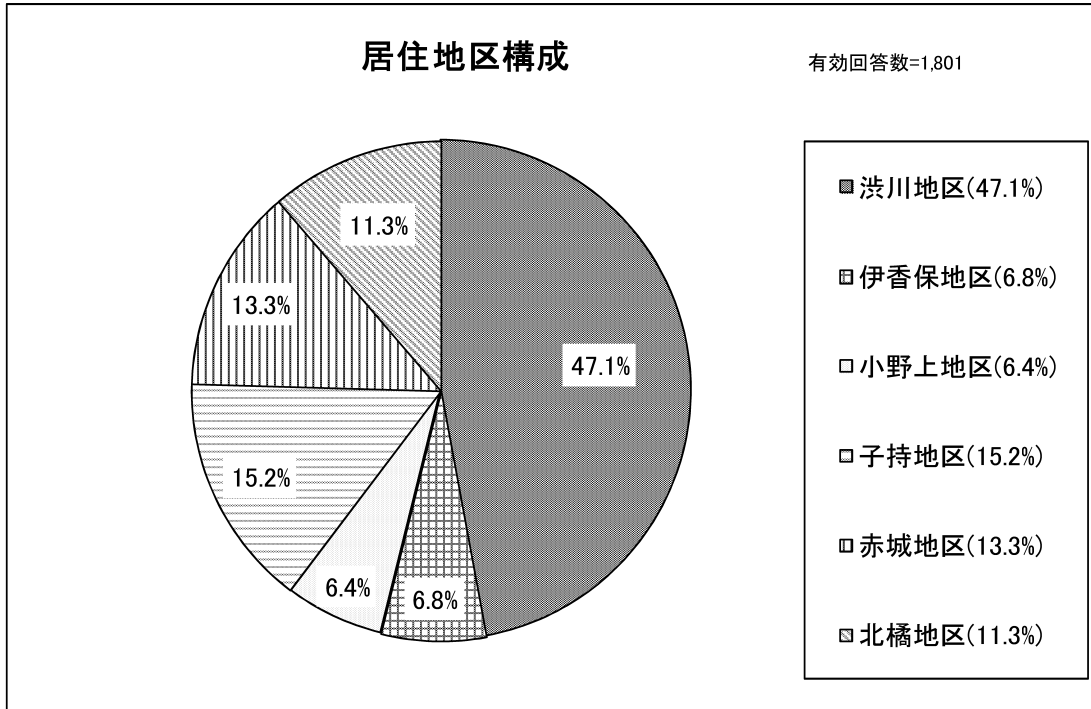
2.回答者の職業構成

回答者の職業構成は、無職が24.4%と最も多く、次いで会社員が23.0%、主婦(夫)が15.8%の順に多くなっています。



3.回答者の居住地区構成

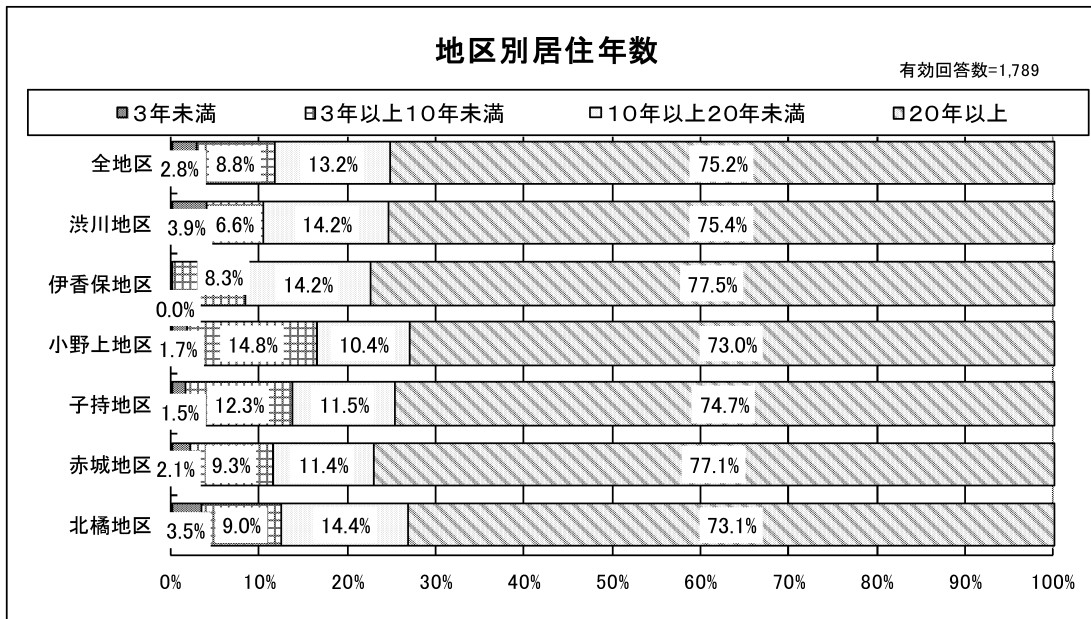
回答者の居住地区は、渋川地区が 47.1%と最も高くなっており、次いで子持地区 15.2%、赤城地区 13.3%の順に高くなっています。



4.回答者の居住年数

回答者の居住年数は、20年以上が 75.2%と最も多く、次いで、10年以上20年未満が 13.2%、3年以上10年未満が 8.8%の順に多くなっています。

このことから、渋川市では、人口の流出入が少なく、居住年数も長くなっていることがうかがえます。



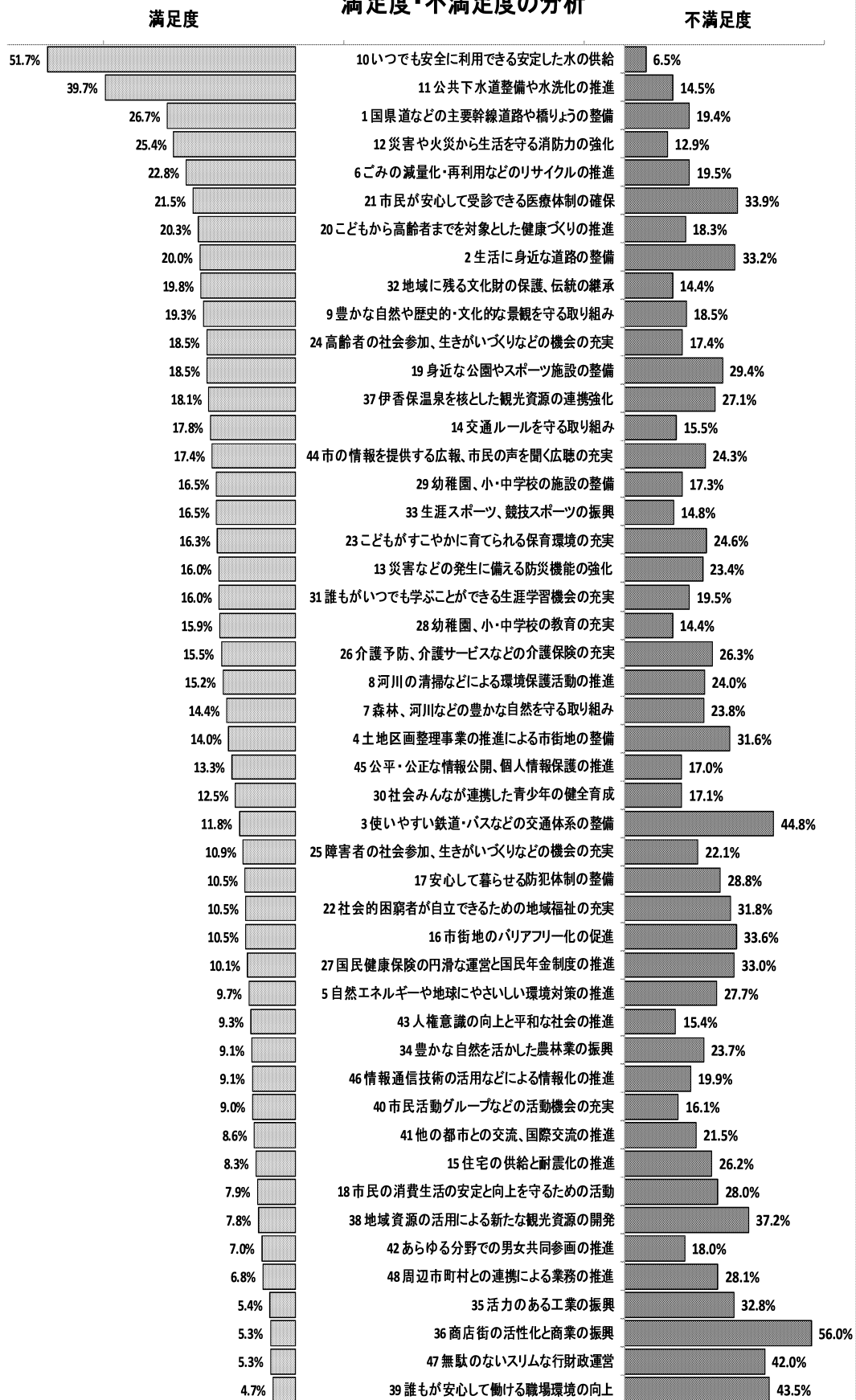
5.市の取り組みに関する満足度について

(1) 各施策の満足度・不満足度

満足度については、「10 いつでも安全に利用できる安定した水の供給」に対する満足度が51.7%と最も高く、次いで「11 公共下水道整備や水洗化の推進 39.7%」「1 国道などの主要幹線道路や橋りょうの整備 26.7%」「12 災害や火災から生活を守る消防力の強化 25.4%」「6 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進 22.8%」の順に高くなっています。

不満足度については「36 商店街の活性化と商業の振興」に対する不満足度が56.0%と最も高く、次いで「3 使いやすい鉄道・バスなどの交通体系の整備 44.8%」「39 誰もが安心して働ける職場環境の向上 43.5%」「47 無駄のないスリムな行財政運営 42.0%」「38 地域資源の活用による新たな観光資源の開発 37.2%」の順に高くなっています。

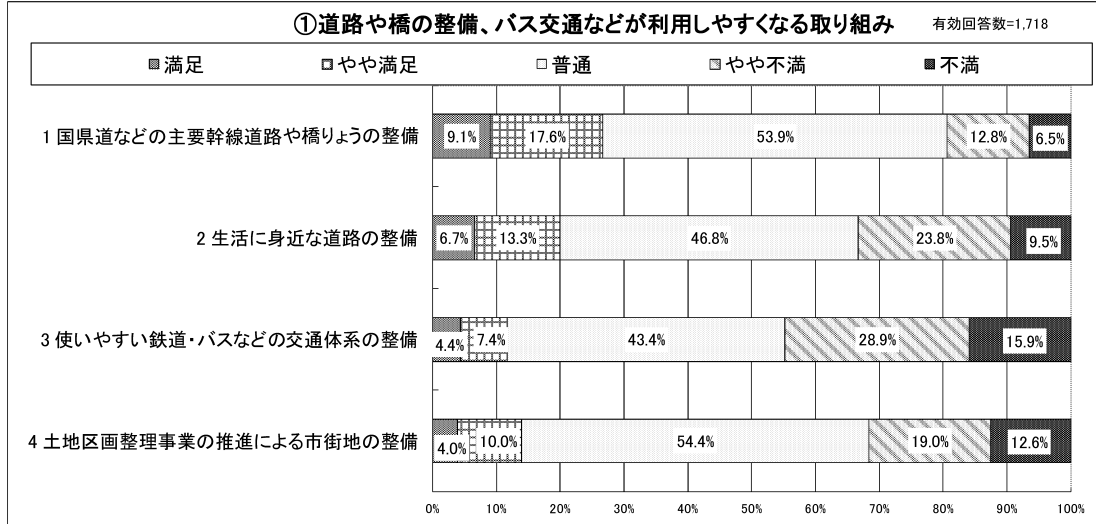
満足度・不満足度の分析



(2) 分野別の満足度・不満足度

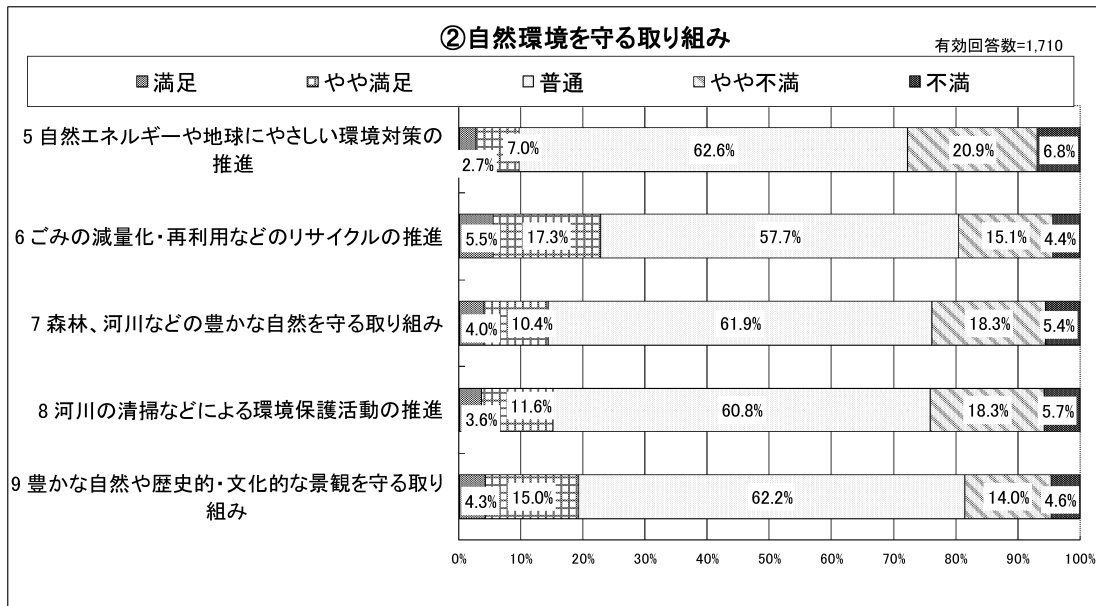
分野別（1）道路や橋の整備、バス交通などが利用しやすくなる取り組み

「1 国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備」（やや満足以上：26.7%）と「2 生活に身近な道路の整備」（やや満足以上：20%）の満足度が高く、他方、「3 使いやすい鉄道・バスなどの交通体系の整備」（やや不満以下：44.8%）と「4 土地区画整理事業の推進による市街地の整備」（やや不満以下：31.6%）の不満足度が高い傾向にあります。



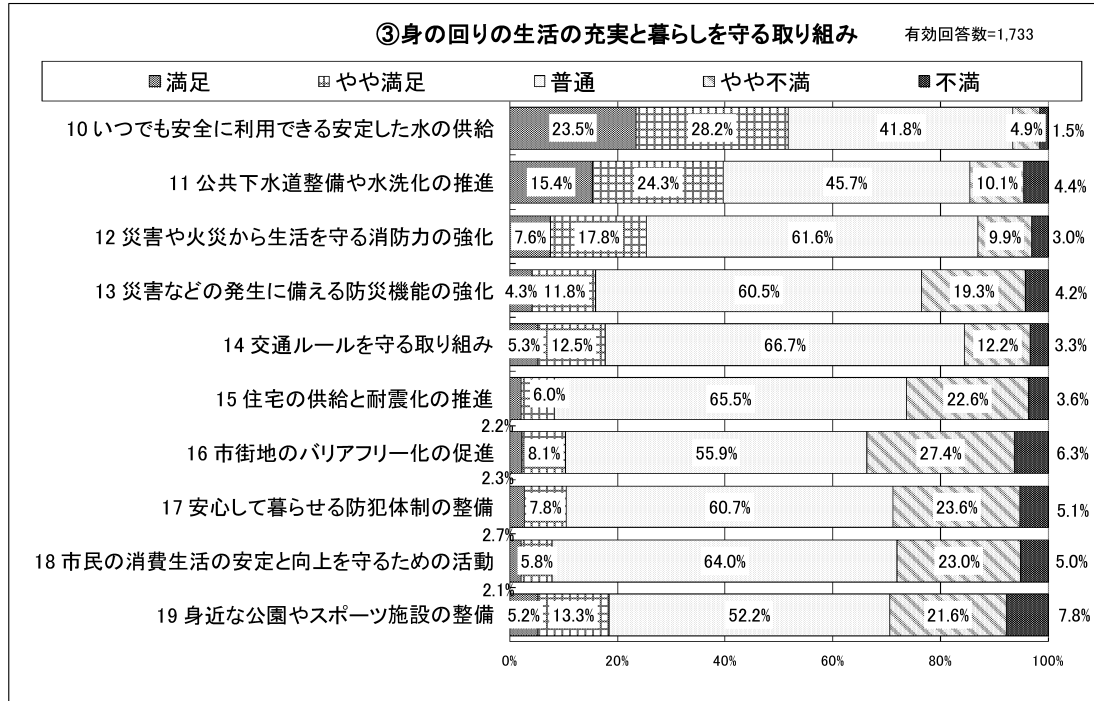
分野別（2）自然環境を守る取り組み

「6 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進」（やや満足以上：22.8%）の満足度が高く、「5 自然エネルギーや地球にやさしい環境対策の推進」（やや満足以上：9.2%）の満足度が低い傾向にあります。
 なお、5～9 のいずれの項目も概ね 60%が普通という回答となっています。



分野別（３）身の回りの生活の充実と暮らしを守る取り組み

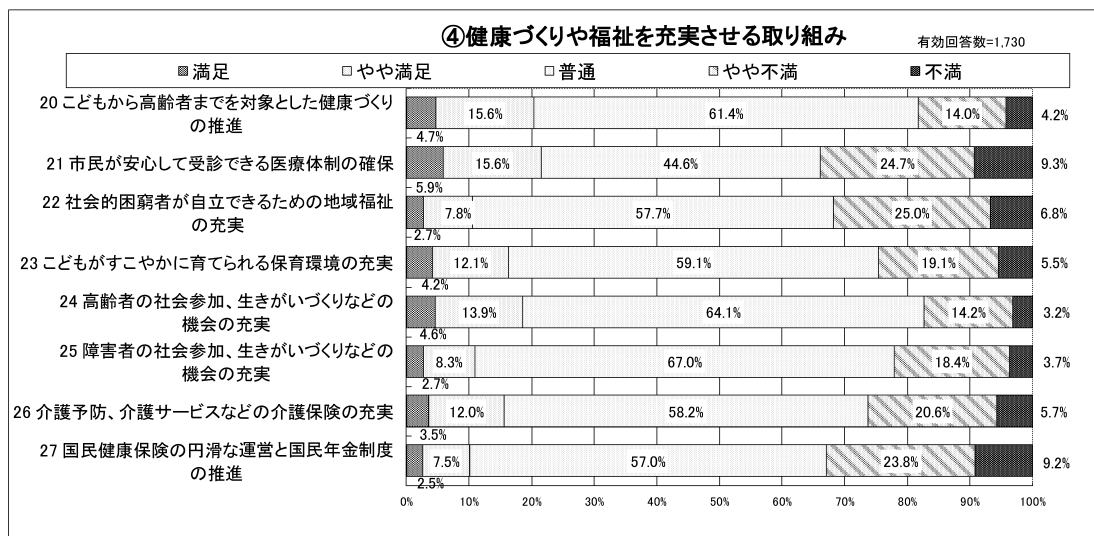
「10 いつでも安全に利用できる安定した水の供給」（やや満足以上：51.7%）と「11 公共下水道整備や水洗化の推進」（やや満足以上：39.7%）高く、他方、「18 市民の消費生活の安定と向上を守るための活動」（やや満足以上：7.9%）、「15 住宅の供給と耐震化の推進」（やや満足以上：8.2%）、「16 市街地のバリアフリー化の促進」（やや満足以上：10.4%）の満足度が低い傾向にあります。



分野別（４）健康づくりや福祉を充実させる取り組み

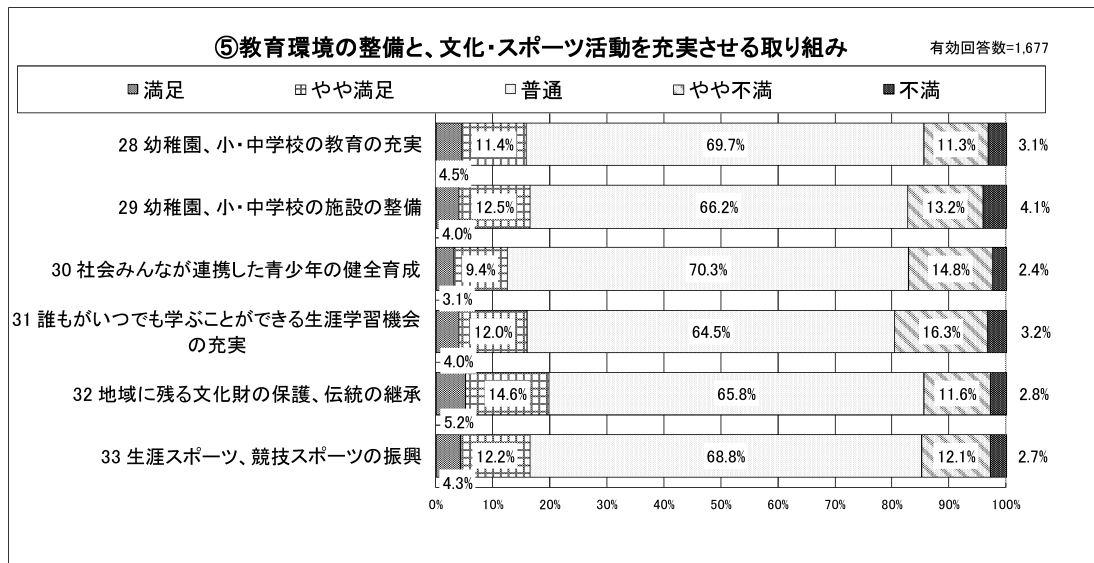
「20 こどもから高齢者までを対象とした健康づくりの推進」（やや満足以上：20.3%）、「24 高齢者の社会的参加、生きがいつくりなどの機会の充実」（やや満足以上：18.5%）の満足度が高い傾向にあります。

他方、「21 市民が安心して受診できる医療体制の確保」（やや不満以下：34.0%）、「27 国民健康保険の円滑な運営と国民年金制度の推進」（やや不満以下：33.0%）の不満度が高い傾向にあります。



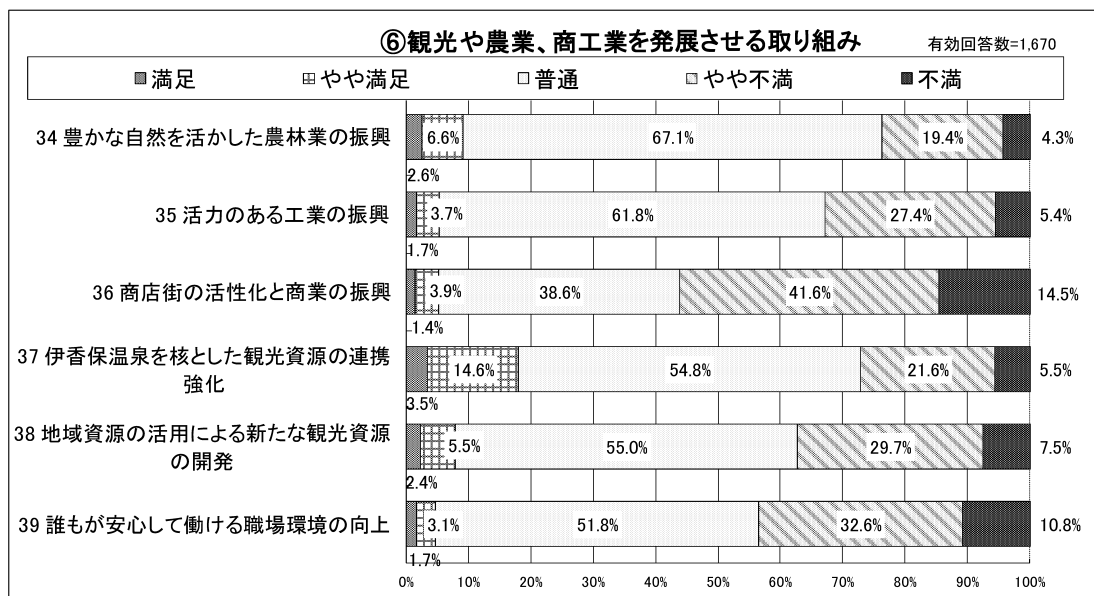
分野別（５）教育環境の整備と、文化・スポーツ活動を充実させる取り組み

いずれの項目も、普通が 65%程度と高く、満足度・不満度ともに低い傾向にあります。



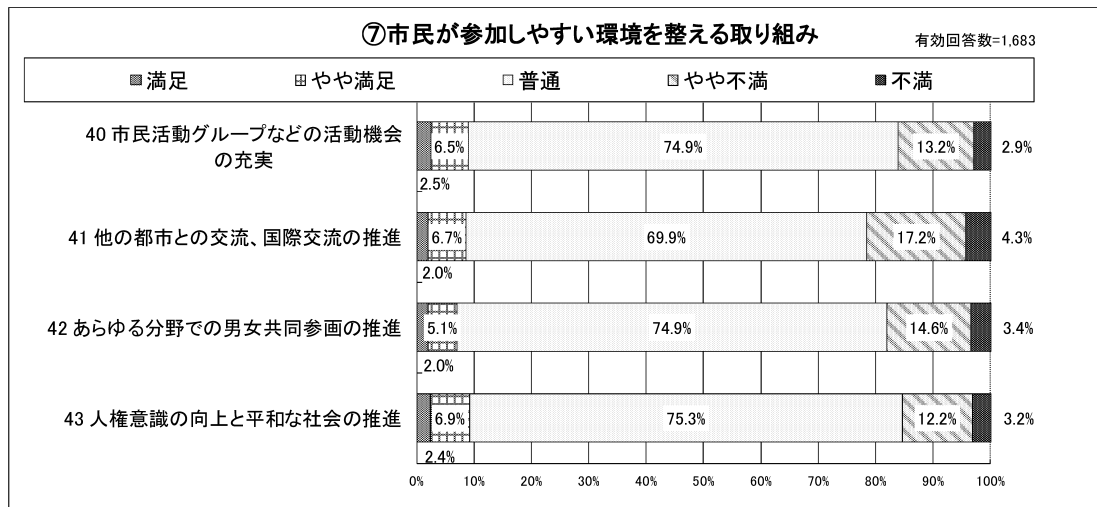
分野別（６）観光や農業、商工業を発展させる取り組み

「37 伊香保温泉を核とした観光資源の連携強化」（やや満足以上：18.1%）の満足度が高いものの、「36 商店街の活性化と商業の振興」（やや不満以下：56.1%）と「39 誰もが安心して働ける職場環境の向上」（やや不満以下：43.4%）続いて「38 地域資源の活用による新たな観光資源の開発」（やや不満以下：37.2%）が不満度の高い傾向にあります。



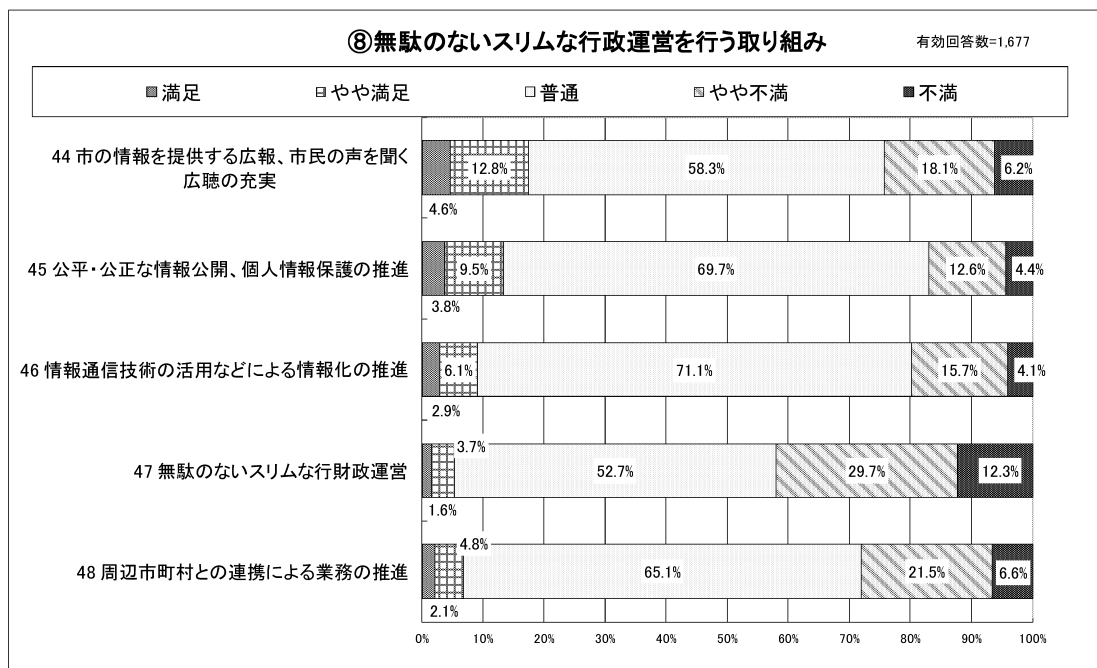
分野別（7）市民が参加しやすい環境を整える取り組み

いずれの項目も、普通が70%程度と高く、満足度・不満度ともに低い傾向にあります。



分野別（8）無駄のないスリムな行政運営を行う取り組み

「44 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実」(やや満足以上:17.4%)の満足度が高いものの、「47 無駄のないスリムな行財政運営」(やや不満以下:42.0%)と「48 周辺市町村との連携による業務の推進」(やや不満以下:28.1%)の不満度が高い傾向にあります。



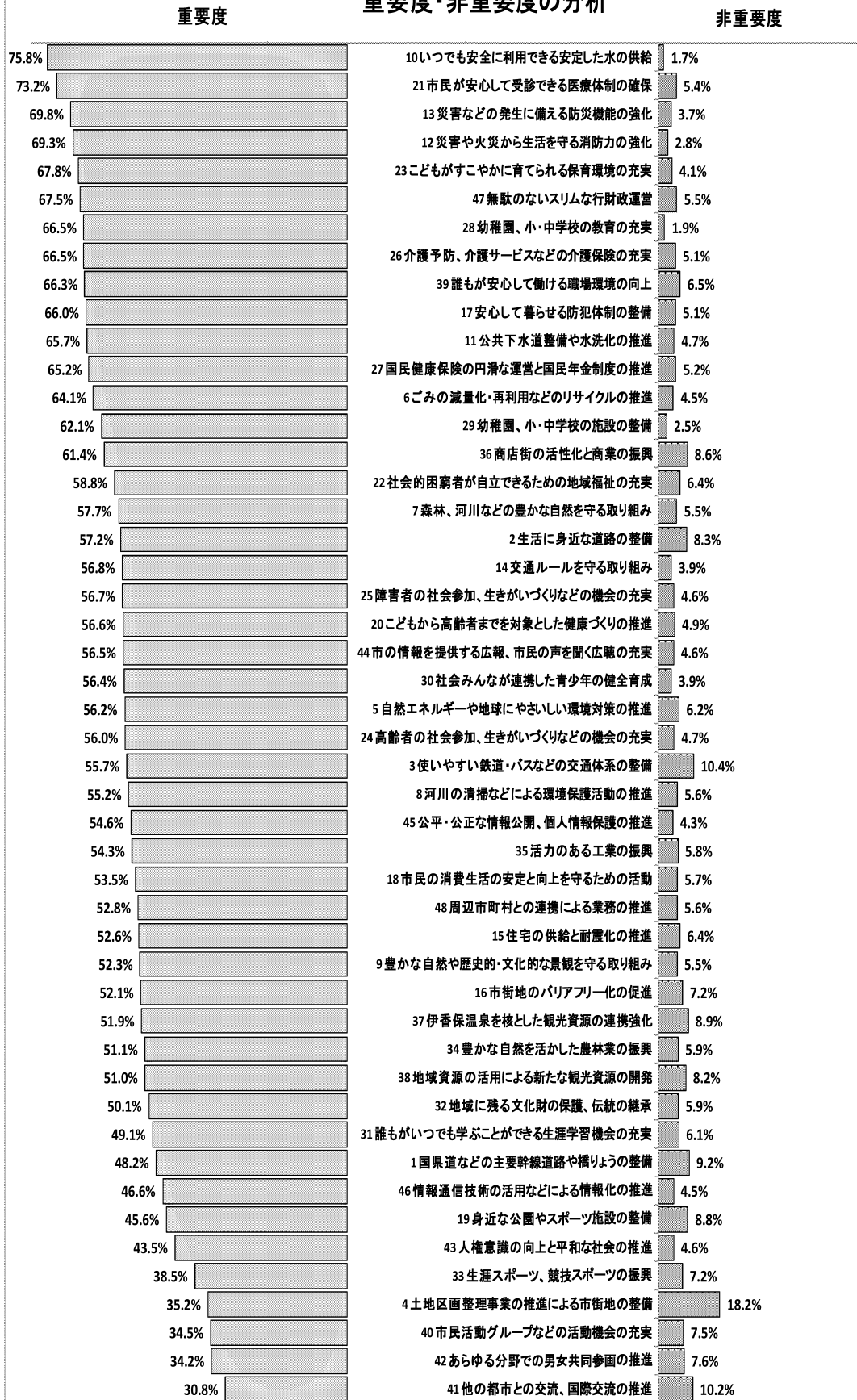
6.市の取り組みに関する重要度について

(1) 各施策の重要度・非重要度

重要度については「10 いつでも安全に利用できる安定した水の供給 75.8%」「13 災害などの発生に備える防災機能の強化 69.8%」「12 災害や火災から生活を守る消防力の強化 69.3%」といった項目が上位に来ていることから、身の回りの生活の充実と暮らしを守る取り組みについて市民の関心度が高いと思われます。特に、災害に関しての関心はますます高まっているものと考えられます。

非重要度については「4 土地区画整理事業の推進による市街地の整備 18.2%」「3 使いやすい鉄道・バスなどの交通体系の整備 10.4%」「1 国県道などの主要幹線道路や橋りょうの整備 9.2%」といった項目が上位に来ていることから、道路や橋の整備に関する重要度は低いと考えられます。

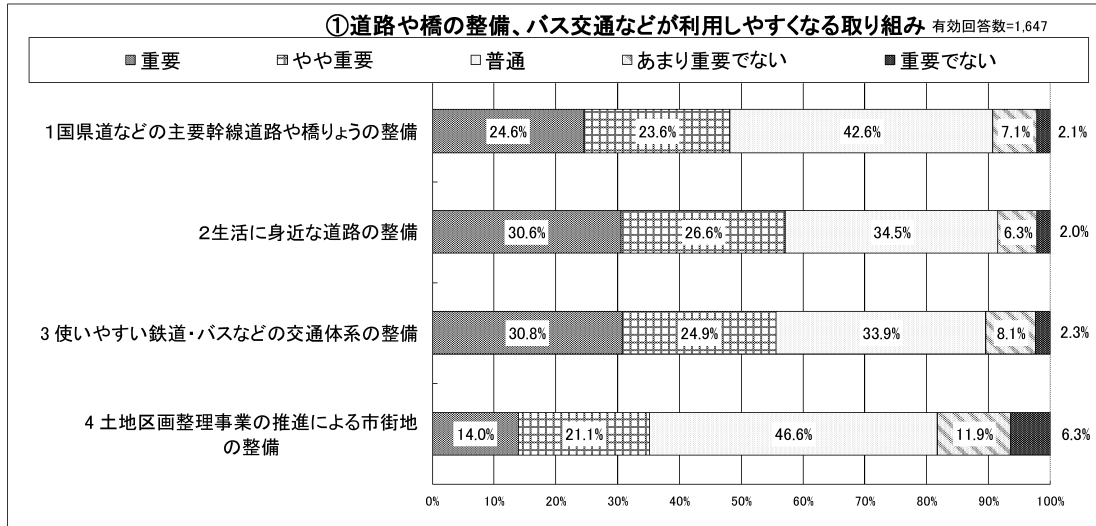
重要度・非重要度の分析



(2) 分野別の重要度・非重要度

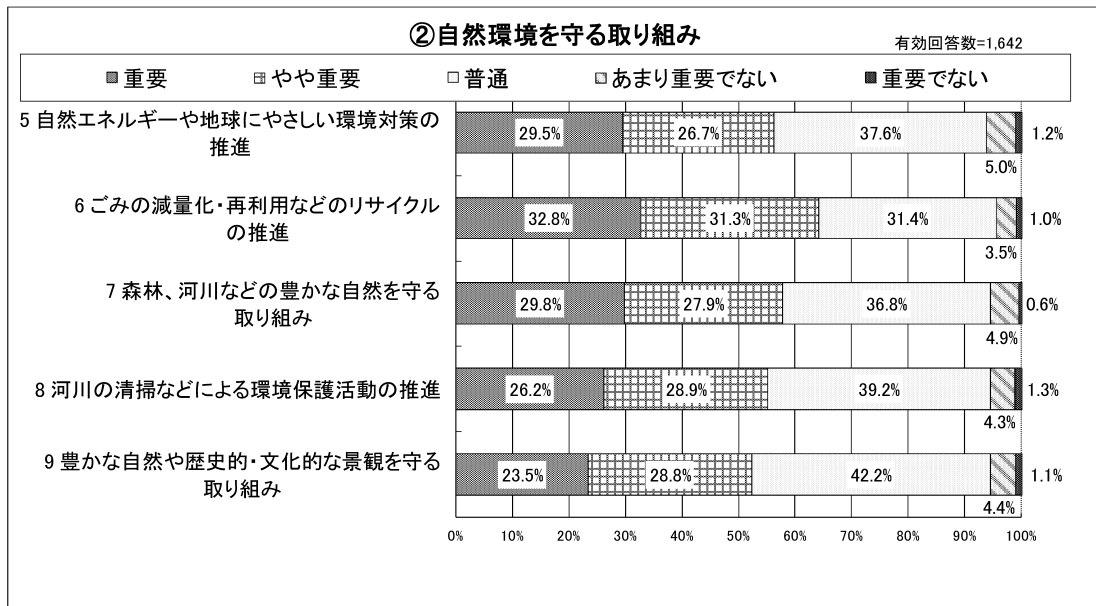
分野別（１）道路や橋の整備、バス交通などが利用しやすくなる取り組み

「2 生活に身近な道路の整備」（やや重要以上：57.2%）と「3 使いやすい鉄道・バスなどの交通体系の整備」（やや重要以上：55.7%）の重要度が高く、「4 土地区画整理事業の推進による市街地の整備」（やや重要以上：35.1%）にかかる重要度は低い傾向にあります。



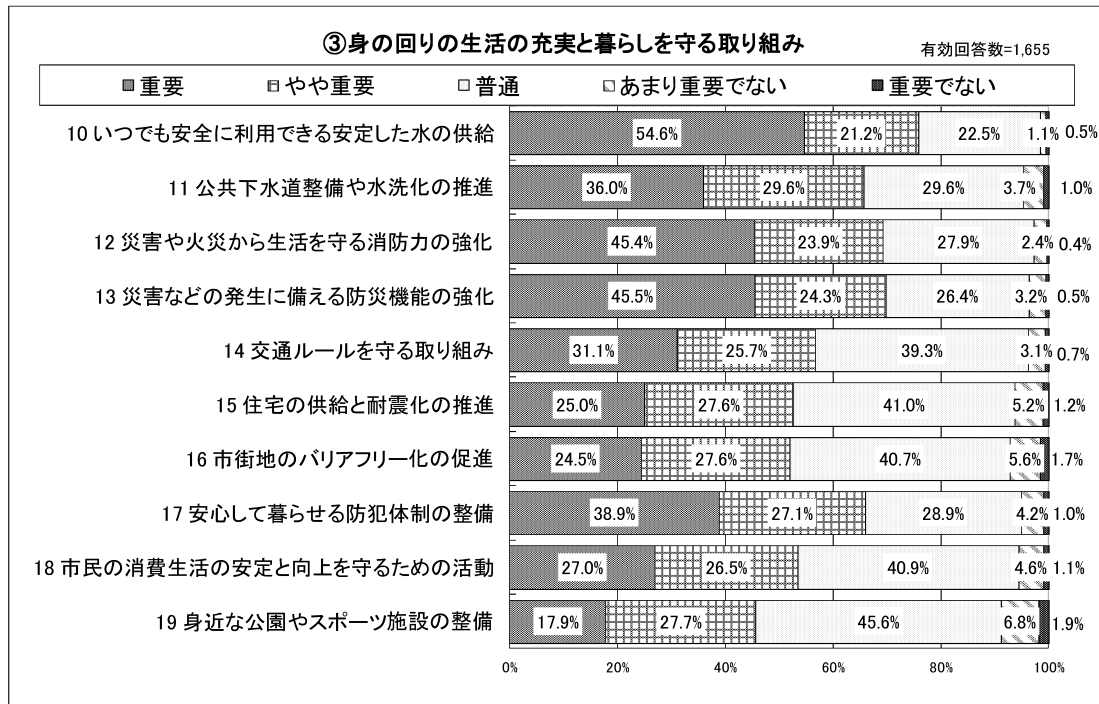
分野別（２）自然環境を守る取り組み

「6 ごみの減量化・再利用などのリサイクルの推進」（やや重要以上：64.1%）が比較的重要度は高いものの、当該分野全体のいずれの項目も重要度が高い傾向にあります。



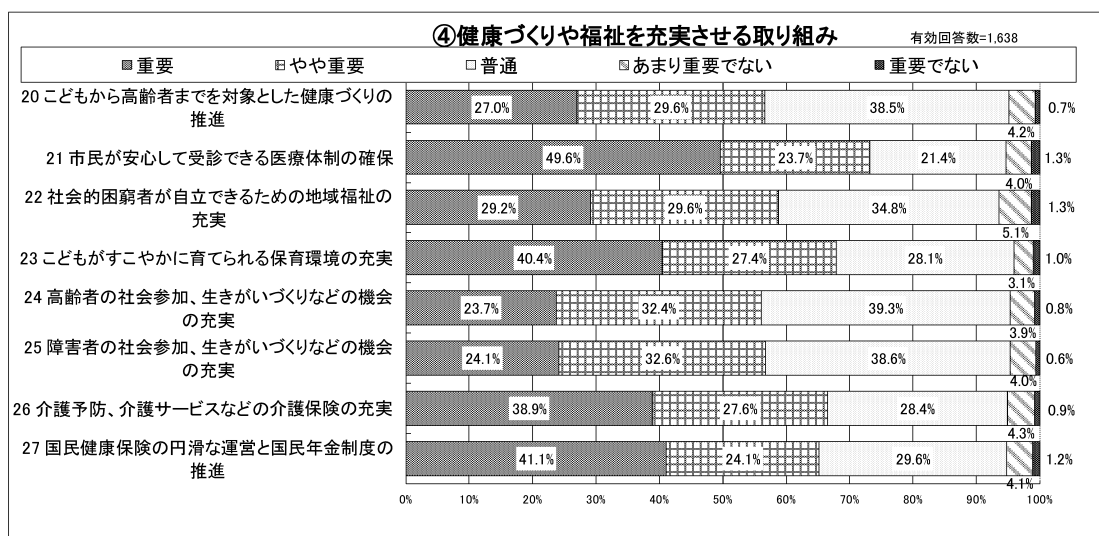
分野別（３）身の回りの生活の充実と暮らしを守る取り組み

「10 いつでも安全に利用できる安定した水の供給」（やや重要以上：75.8%）、「13 災害などの発生に備える防災機能の強化」（やや重要以上：69.8%）、「12 災害や火災から生活を守る消防力の強化」（やや重要以上：69.3%）の重要度が非常に高い傾向にあります。また、当該分野全体のいずれの項目も重要度が高い傾向にあります。



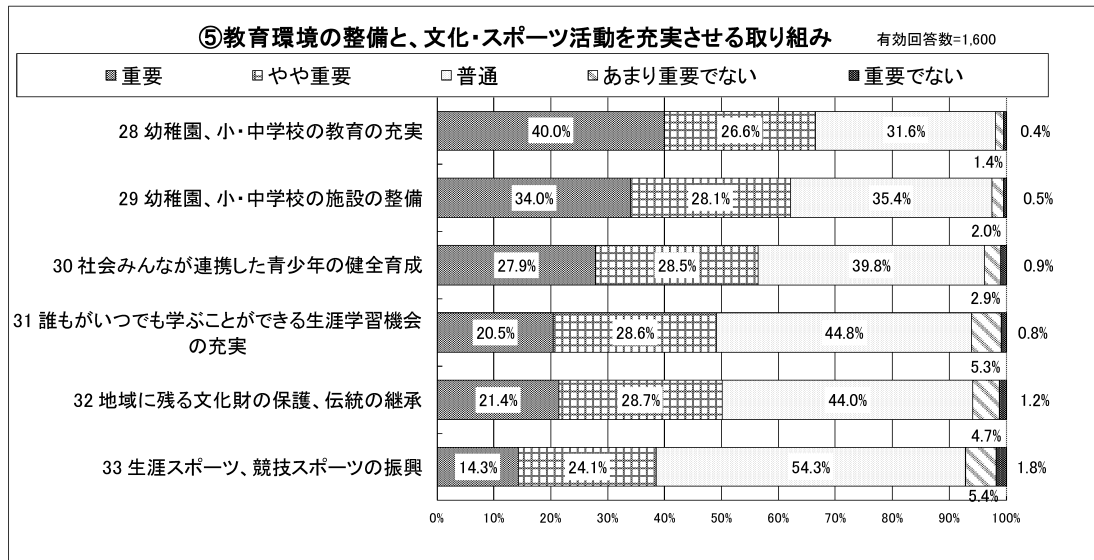
分野別（４）健康づくりや福祉を充実させる取り組み

「21 市民が安心して受診できる医療体制」（やや重要以上：73.3%）、「23 こどもがすこやかに育てられる保育環境の充実」（やや重要以上：67.8%）、「26 介護予防、介護サービスなどの介護保険の充実」（やや重要以上：66.5%）、「27 国民健康保険の円滑な運営」（やや重要以上：65.2%）の重要度が高い傾向にあります。また、当該分野全体のいずれの項目も重要度が高い傾向にあります。



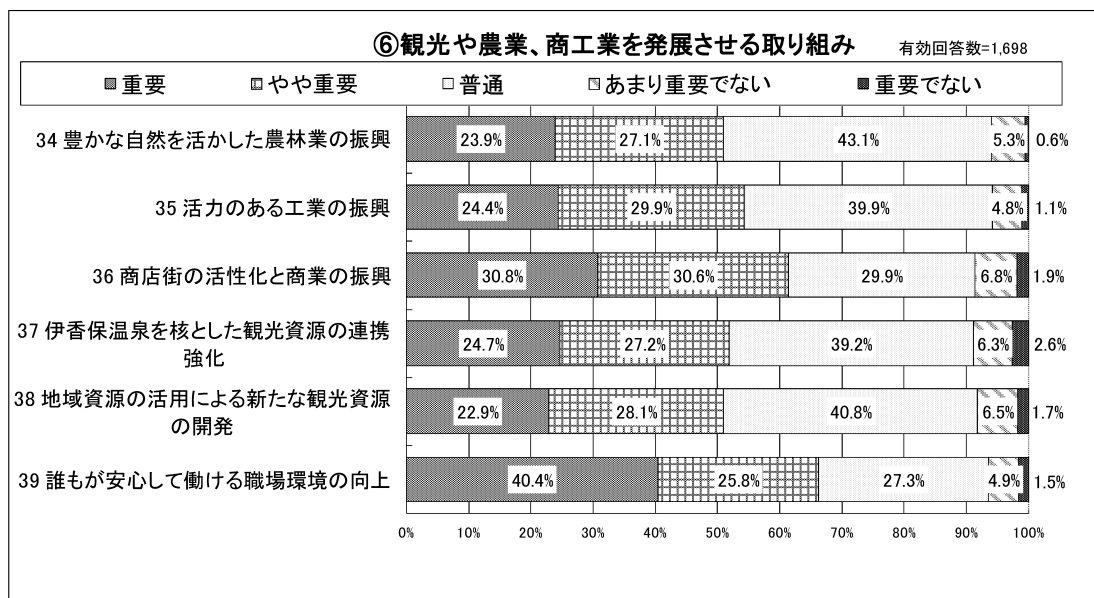
分野別（５）教育環境の整備と、文化・スポーツ活動を充実させる取り組み

「28 幼稚園、小・中学校の教育の充実」（やや重要以上：66.6%）と「29 幼稚園、小・中学校の施設の整備」（やや重要以上：62.1%）、「30 社会みんなが連携した青少年の健全育成」（やや重要以上：56.4%）の重要度が高く、当該分野全体のいずれの項目も重要度が高い傾向にあります。



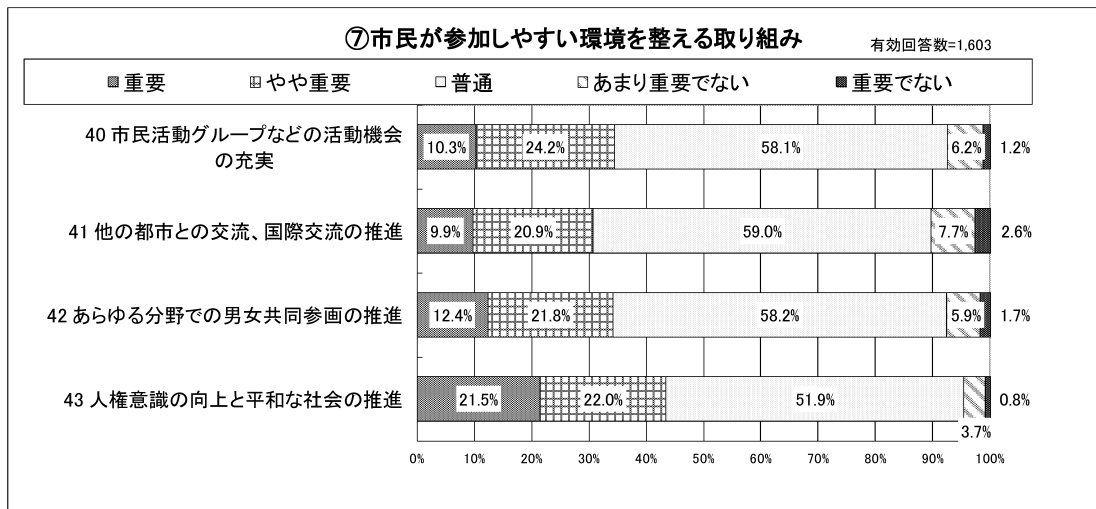
分野別（６）観光や農業、商工業を発展させる取り組み

「39 誰もが安心して働ける職場環境の向上」（やや重要以上:51.0%）と「36 商店街の活性化と商業の振興」（やや重要以上:61.4%）で重要度が高く、当該分野全体のいずれの項目も重要度が高い傾向にあります。



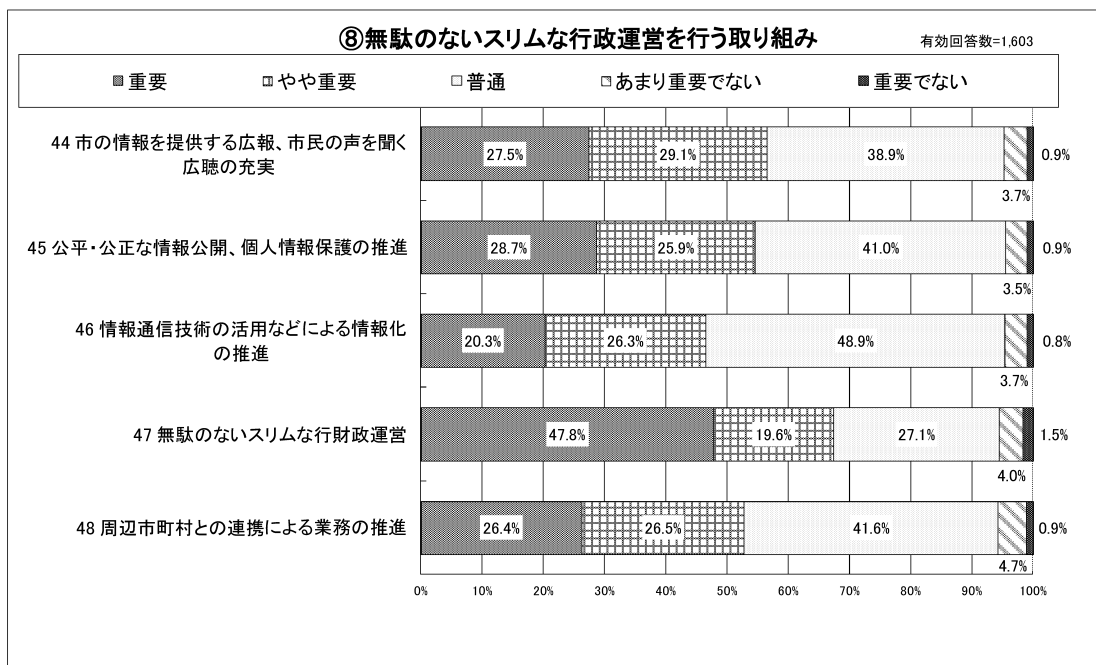
分野別（7）市民が参加しやすい環境を整える取り組み

「43 人権意識の向上と平和な社会の推進」（やや重要以上：43.5%）が比較的重要度の高い項目となっています。また、当該分野は他の分野に比して、普通であるとの回答がいずれも50%超であり比較的多くの割合を占めています。



分野別（8）無駄のないスリムな行政運営を行う取り組み

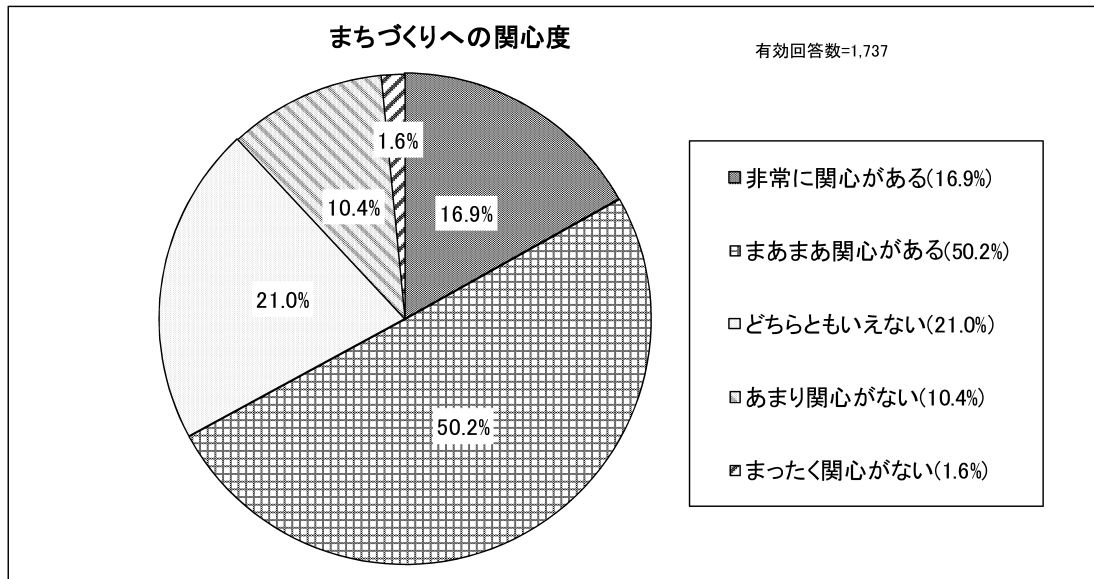
「47 無駄のないスリムな行政運営」（やや重要以上：67.4%）、「45 公平・公正な情報公開、個人情報保護の推進」（やや重要以上：54.6%）、「44 市の情報を提供する広報、市民の声を聞く広聴の充実」（やや重要以上：56.6%）が比較的重要度の高い項目となっています。また、当該分野全体のいずれの項目も重要度が高い傾向にあります。



7.まちづくりへの関心度について

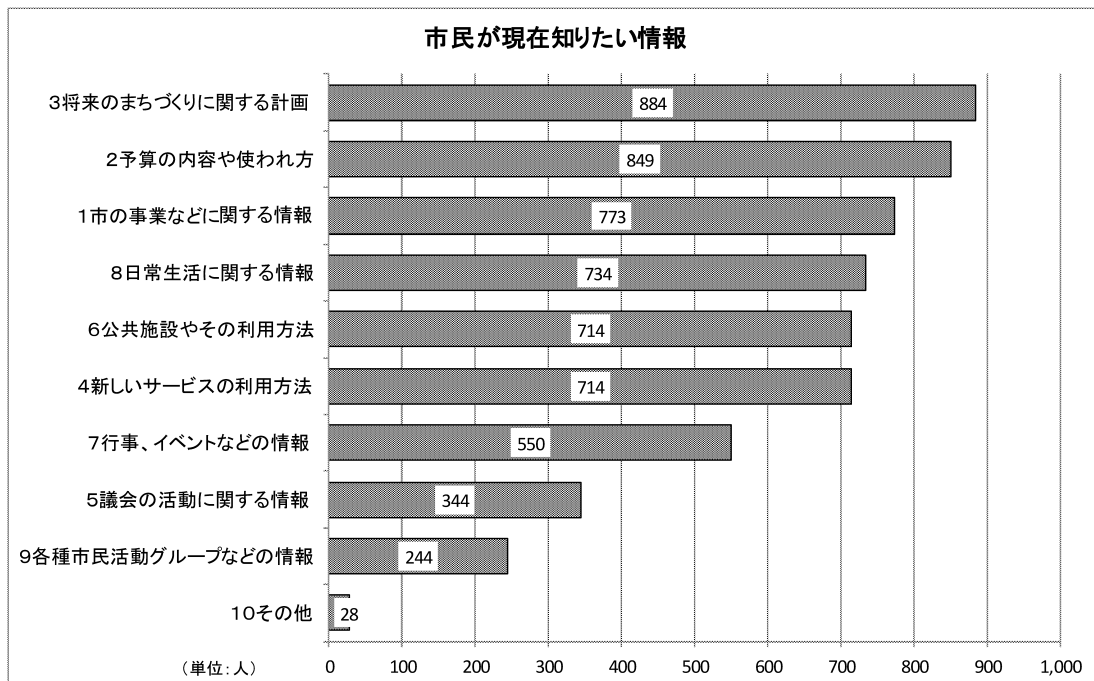
関心がある(=非常に関心がある+まあまあ関心がある)と回答した割合が67.1%であり、市民のまちづくりへの関心度は高いことが分かります。

また、関心がない(=まったく関心がない+あまり関心がない)と回答した割合も11.9%であり、まちづくりへの関心度が低い市民も少ないことが分かります。



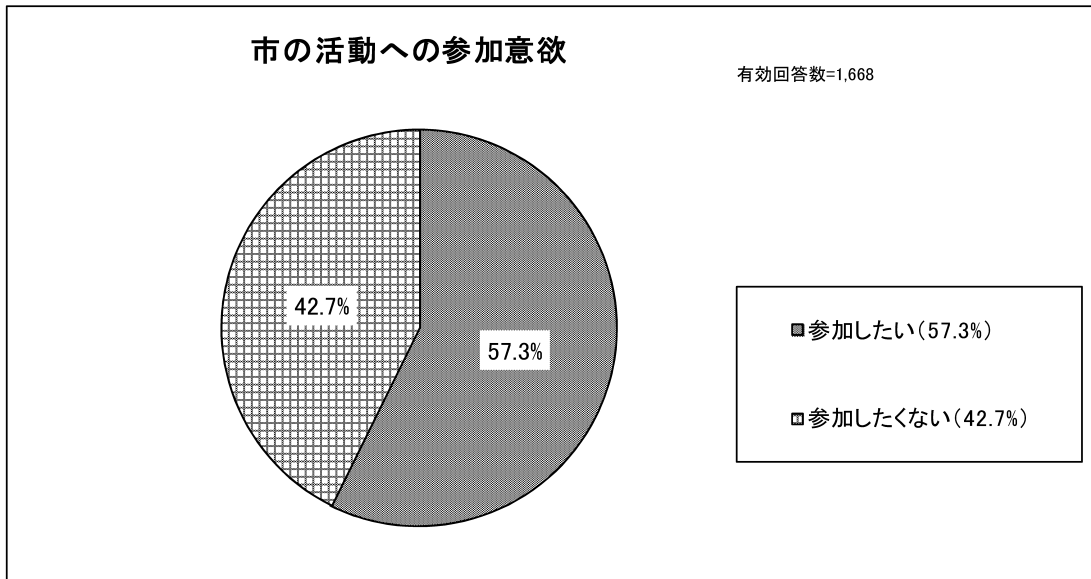
8.市民が現在知りたい情報について

市民が現在知りたい情報は「3 将来のまちづくりに関する計画」の884人が一番高く、次いで「2 予算の内容や使われ方 849人」「1 市の事業などに関する情報 773人」「8 日常生活に関する情報 734人」「4 新しいサービスの利用方法 714人」の順番に高くなっています。



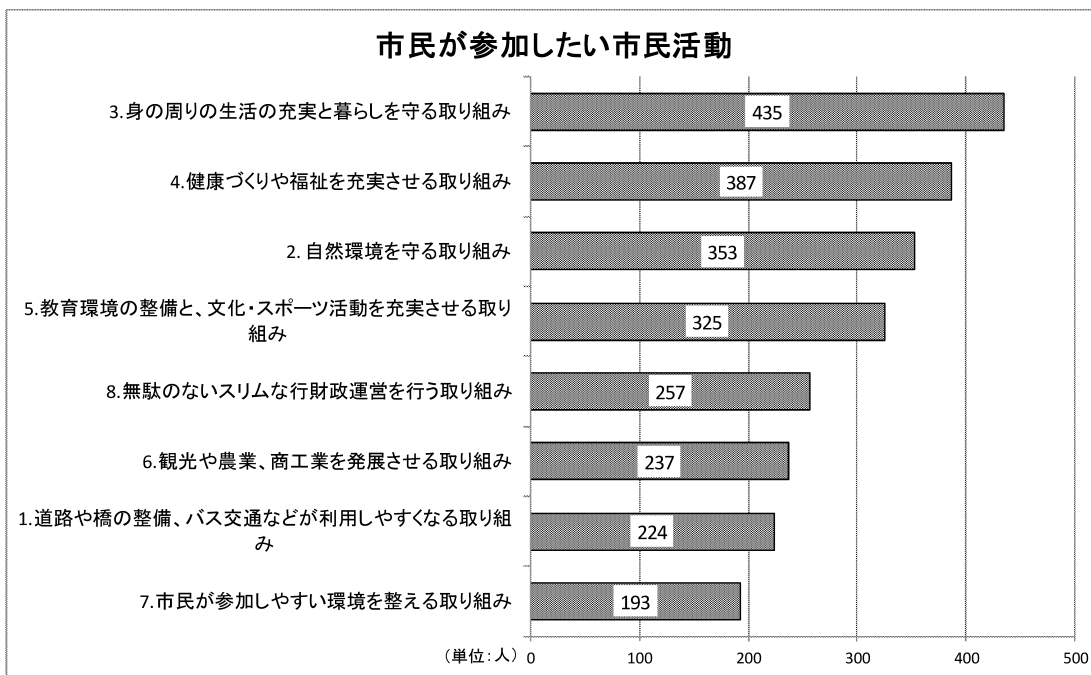
9.市の活動への参加意欲について

市の活動へ「参加したい」と回答した割合が 57.3%であり、参加意欲のある市民が過半数を占めています。



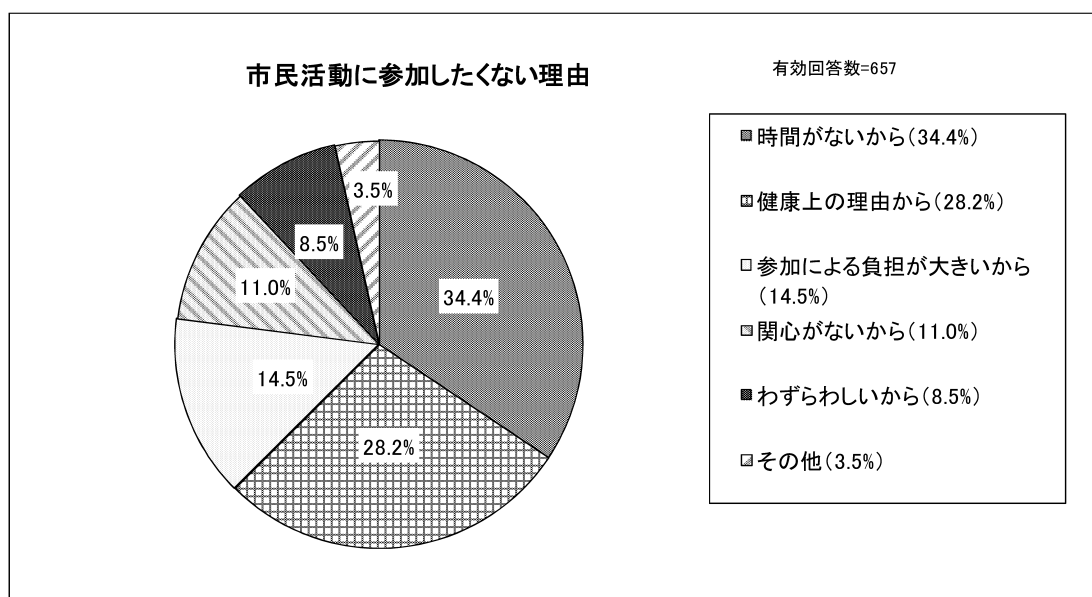
10.市民が参加したい市民活動について

市民が参加したいと回答した市民活動は「3 身の周りの生活の充実と暮らしを守る取り組み」が 435 人と最も多くなっています。次いで「4 健康づくりや福祉を充実させる取り組み 387 人」「2 自然環境を守る取り組み 353 人」「5.教育環境の整備と、文化・スポーツ活動を充実させる取り組み 325 人」「8 無駄のないスリムな行財政運営を行う取り組み 257 人」の順に高くなっています。



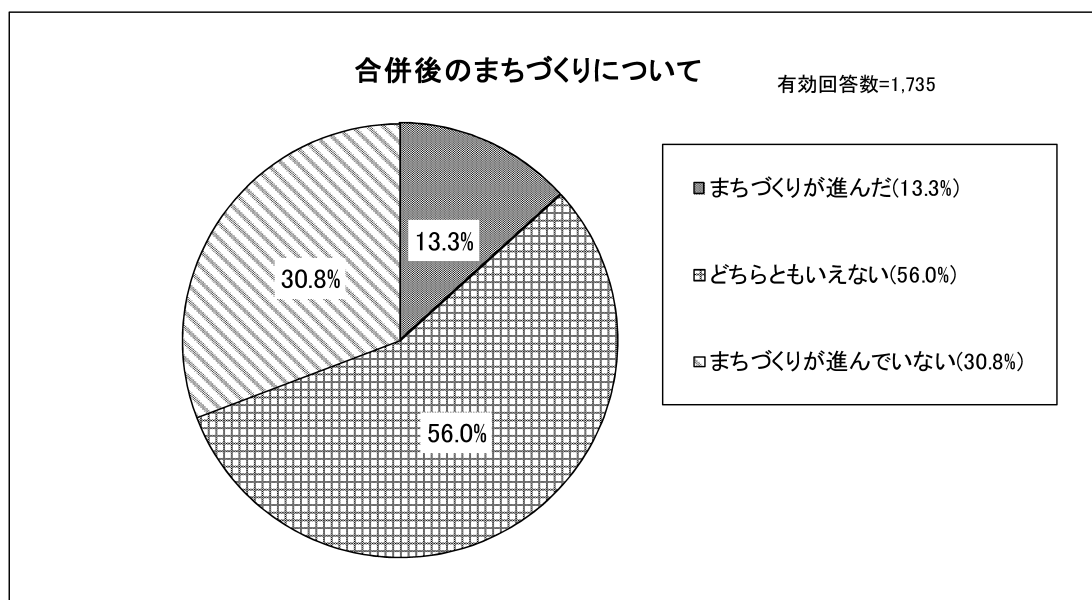
1 1.市民活動に参加したくない理由について

市民活動へ参加したくない理由としては、「時間がないから」と回答した割合が34.4%と最も多く、次いで「健康上の理由から」28.2%、「参加による負担が大きいから」14.5%の順に多くなっています。



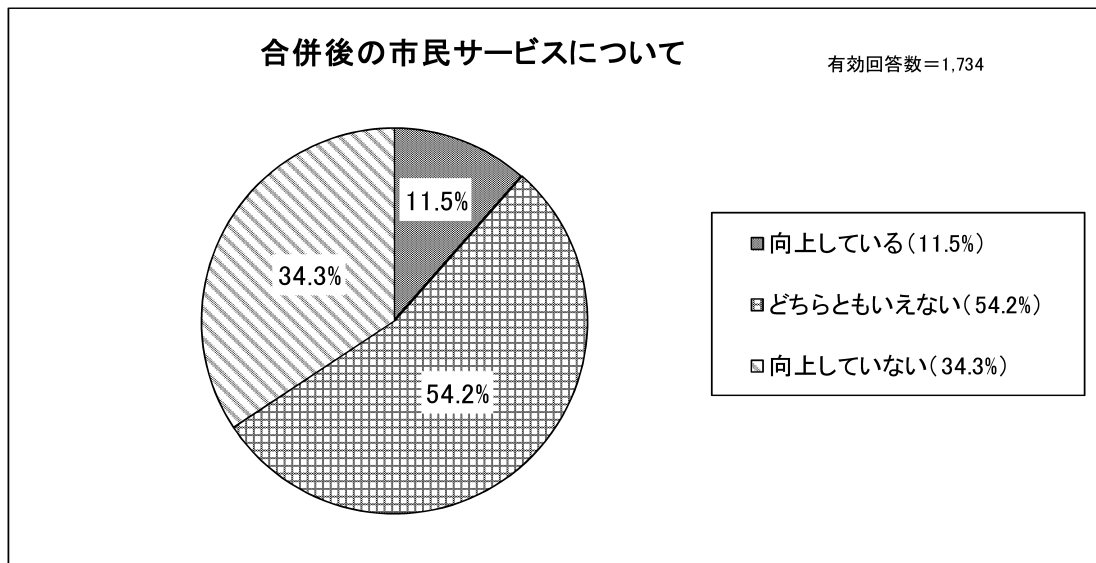
1 2.合併後のまちづくりについて

まちづくりが進んだと回答した市民が13.3%であるのに対し、まちづくりが進んでいないと回答した市民は30.8%であり、合併後のまちづくりについて否定的に捉える市民が多い結果となっています。



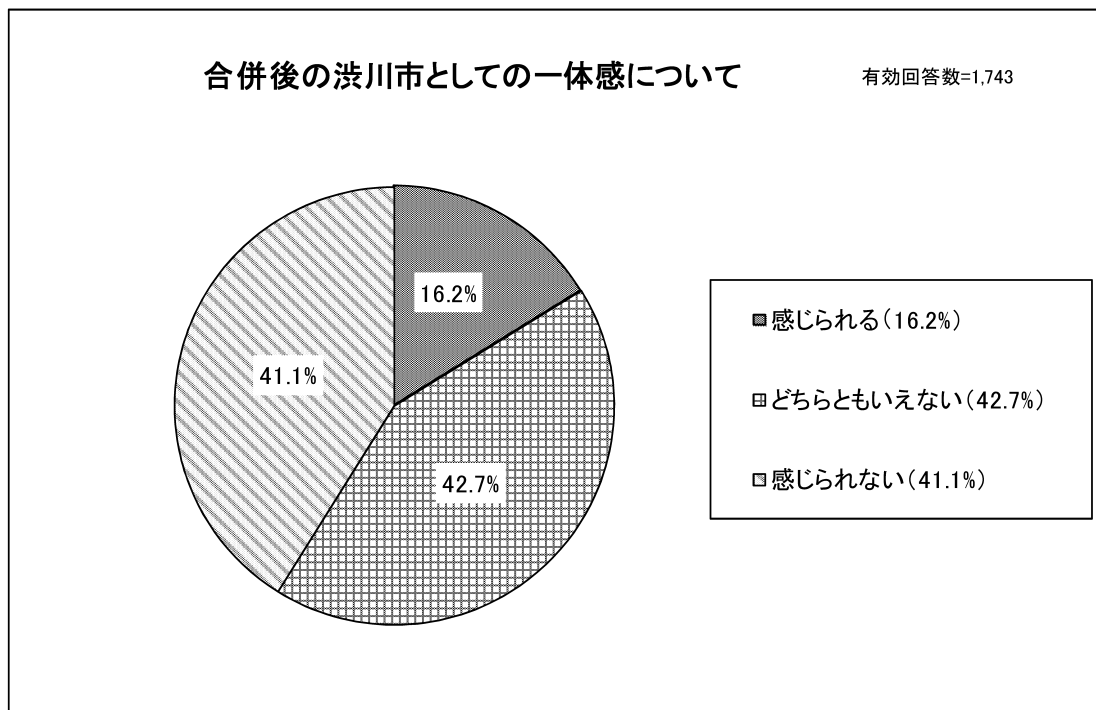
1 3.合併後の市民サービスについて

市民サービスが「向上している」と回答した市民が 11.5%であるのに対し、「向上していない」と回答した市民は 34.3%であり、合併後の市民サービスについて否定的に捉える市民の方が多い結果となっています。



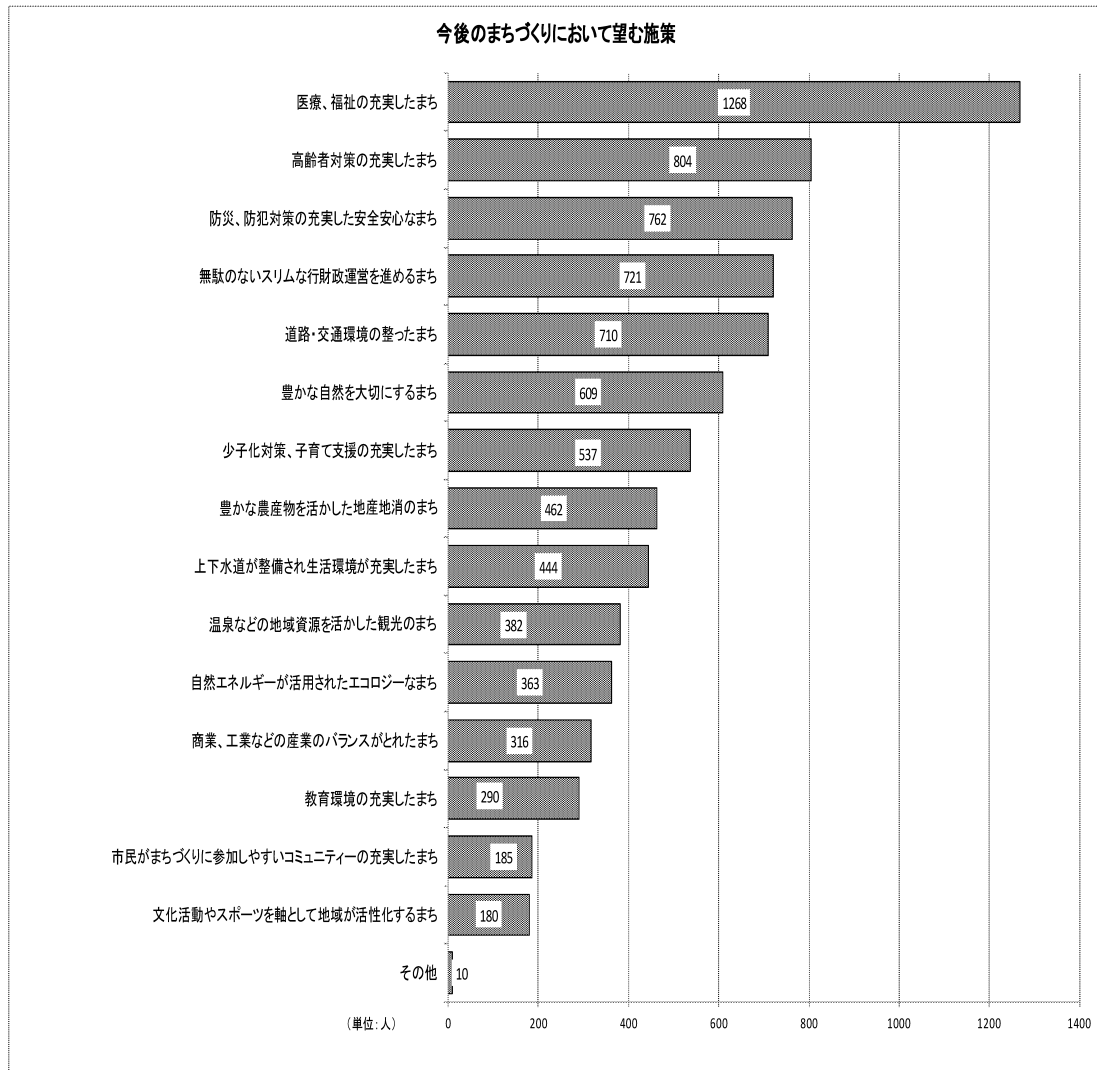
1 4.合併後の渋川市としての一体感について

合併後の渋川市としての一体感について、「感じられない」と回答した割合あが 41.1%と最も多く、合併後の渋川市としての一体感について否定的に捉える市民が多いことがうかがえます。



15. 今後のまちづくりについて

「医療、福祉の充実したまち」を希望する市民が 1,268 人と最も多く、次いで「高齢者対策の充実したまち 804 人」「5. 防災、防犯対策の充実した安全安心なまち 762 人」「15. 無駄のないスリムな行財政運営を進めるまち 721 人」「1. 道路・交通環境の整ったまち 710 人」の順に高くなっています。



16. 自由記述

市政について、市民から自由な意見を頂きました。

なお、意見の主な分類と件数は次のとおりです。

- ①道路や橋の整備、バス交通などが利用しやすくなる取り組み (=151 件)
- ②自然環境を守る取り組み (=35 件)
- ③身の回りの生活の充実と暮らしを守る取り組み (=63 件)
- ④健康づくりや福祉を充実させる取り組み (=66 件)
- ⑤教育環境の整備と、文化・スポーツ活動を充実させる取り組み (=36 件)
- ⑥観光や農業、商工業を発展させる取り組み (=109 件)
- ⑦市民が参加しやすい環境を整える取り組み (=36 件)
- ⑧無駄のないスリムな行政運営を行う取り組み (=101 件)
- ⑨その他 (=89 件)